

資料番号	地域3
------	-----

令和6年2月9日
課名 地域政策局中山間地域振興課
担当者 課長 藤谷
内線 2631

「中山間地域の未来を考えるシンポジウム」の開催について

1 要旨・目的

住民、住民自治組織、市町、県及び関係機関等が、中山間地域の集落が将来において直面する課題やその影響を共有し、加えて、関係者が一体となって集落対策に取り組む意義について、広く県民の理解を深めるためのシンポジウムを開催する。

2 現状・背景

- 広島県では、急速な人口減少と高齢化が進む中山間地域における地区・集落の実態を踏まえ、有識者で構成する集落対策に関する検討会議において、住民が安心して暮らし続けられるための対策等について検討が重ねられ、本年2月5日に最終取りまとめの議論が行われた。
- この議論を踏まえ、今後、集落対策を推進していくためには、県民が、中山間地域の価値を再認識することで、中山間地域対策や集落対策の重要性に気付き、理解を深め、さらにそのための活動への参画を促していく必要がある。

3 概要（詳細は別紙チラシ参照）

(1) シンポジウムの名称

「中山間地域の未来を考えるシンポジウム」
～地域への愛着と誇りを、将来への希望と安心につなげる～

(2) 主催

広島県

(3) 開催日時

令和6年3月23日（土）13:00～15:40（開場 12:30）

(4) 開催場所

三次市十日市きんさいセンター（三次市十日市南1丁目2-18）

(5) 実施内容等

ア 基調講演

演題：「中山間地域の集落が果たす役割と未来への対応」

講師：^{さくの ひろかず}
作野 広和氏

（島根大学教育学部教授・広島県集落対策に関する検討会議座長）

イ パネルディスカッション

テーマ：「地域住民が暮らし続けられる集落へ～その価値を将来へつなぐ」

【登壇者（7名）】

さくの ひろかず
作野 広和 氏（島根大学教育学部教授・広島県集落対策に関する検討会議座長）

うらた あい
浦田 愛 氏（NPO 法人ほしはら山のがっこう事務局長（三次市）、
広島県集落対策に関する検討会議構成員）

みやの げんそう
宮野 元壮 氏（ながの村自治振興会長（神石高原町）

くろかわ のりお
黒川 章男 氏（NPO 法人狩留家理事長（広島市）

いまだ じゅん
今田 順 氏（地域価値共創センター ディレクター）

ふくおか さとし
福岡 誠志 氏（三次市長）

ゆざき ひでひこ
湯崎 英彦 （広島県知事）

【コーディネーター】

きど おさむ
城戸 収 氏（中国新聞社編集局報道センター社会担当部長）

(6) 参加申込

ア 申込期間

令和6年2月9日（金）～令和6年3月19日（火）

イ 申込先

中国新聞社ソリューション推進チーム（事業委託先）

(7) 予算（単県）

3,000 千円

4 関連情報

「中山間地域の未来を考えるシンポジウム」申込サイト

URL: <http://q.c-rings.net/?eng=XATGwyYoR3o%3d>（※2月9日公開予定）